

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成22年7月29日(2010.7.29)

【公表番号】特表2009-542532(P2009-542532A)

【公表日】平成21年12月3日(2009.12.3)

【年通号数】公開・登録公報2009-048

【出願番号】特願2009-518038(P2009-518038)

【国際特許分類】

B 6 5 D 25/20 (2006.01)

A 6 1 J 7/04 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 25/20 K

B 6 5 D 25/20 Q

A 6 1 J 7/00 P

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月7日(2010.6.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

固体または液体のための容器であって、
内容物を保持する中空本体部と、
本体部と協働して容器を閉じる蓋部と、
最後に服用した時または次に服用すべき時を指示するための服用遵守支援デバイスとを
備え、

服用遵守支援デバイスは、移動可能な第 1 部分と固定された第 2 部分とを有し、
中空本体部に対して蓋部が移動したとき、第 1 部分が第 2 部分における新しい指示位置
まで自動的に移動すること特徴とする容器。

【請求項 2】

容器の蓋部を開くか、あるいは閉じたときに、第 1 部分が第 2 部分における新しい指示
位置まで自動的に移動すること特徴とする請求項 1 に記載の容器。

【請求項 3】

第 2 部分は、最後に服用した時または次に服用すべき時を指示する時間指示手段である
こと特徴とする請求項 1 または 2 に記載の容器。

【請求項 4】

第 2 部分の時間指示手段は、中空本体部に組み込まれた部品であること特徴とする請求
項 3 に記載の容器。

【請求項 5】

第 2 部分は、中空本体部の表面に設けた浮き彫りであること特徴とする請求項 3 に記載
の容器。

【請求項 6】

第 2 部分は、中空本体部上に設けたラベルであり、このラベルが最後に服用した時また
は次に服用すべき時を指示する時間指示手段を有すること特徴とする請求項 3 に記載の容
器。

【請求項 7】

第２部分の時間指示手段は、曜日および／時間を指示するサインを含むこと特徴とする請求項３～６のいずれか１に記載の容器。

【請求項８】

第２部分の時間指示手段は、昼および／夜を指示するサインを含むこと特徴とする請求項３～６のいずれか１に記載の容器。

【請求項９】

第１部分の一部が容器の内側に配設されていること特徴とする請求項１または２に記載の容器。

【請求項１０】

第１部分の一部が容器の壁部を貫通して、ユーザに対して露出していること特徴とする請求項１または２に記載の容器。

【請求項１１】

第１部分は、容器の壁部を貫通した一部において、第２部分の時間指示手段を指示するインジケータを有すること特徴とする請求項１０に記載の容器。

【請求項１２】

第１部分は、蓋部の一部と係合する手段であって、容器の蓋部の開閉に伴い、新しい指示位置に至るまで第１部分を移動させるものを有すること特徴とする請求項１または２に記載の容器。

【請求項１３】

第１部分は円形の指示ホイールであり、指示ホイールの全周には複数の歯が設けられていること特徴とする請求項１２に記載の容器。

【請求項１４】

容器のための服用遵守支援デバイスなどであって、
最後に服用した時または次に服用すべき時を指示するための移動可能な第１部分および容器上にある固定された第２部分を有し、

中空本体部に対して蓋部が移動したとき、第１部分が固定された第２部分における新しい指示位置まで自動的に移動すること特徴とする服用遵守支援デバイス。

【請求項１５】

請求項１～１３に記載の容器または請求項１４に記載の服用遵守支援デバイスの使用。